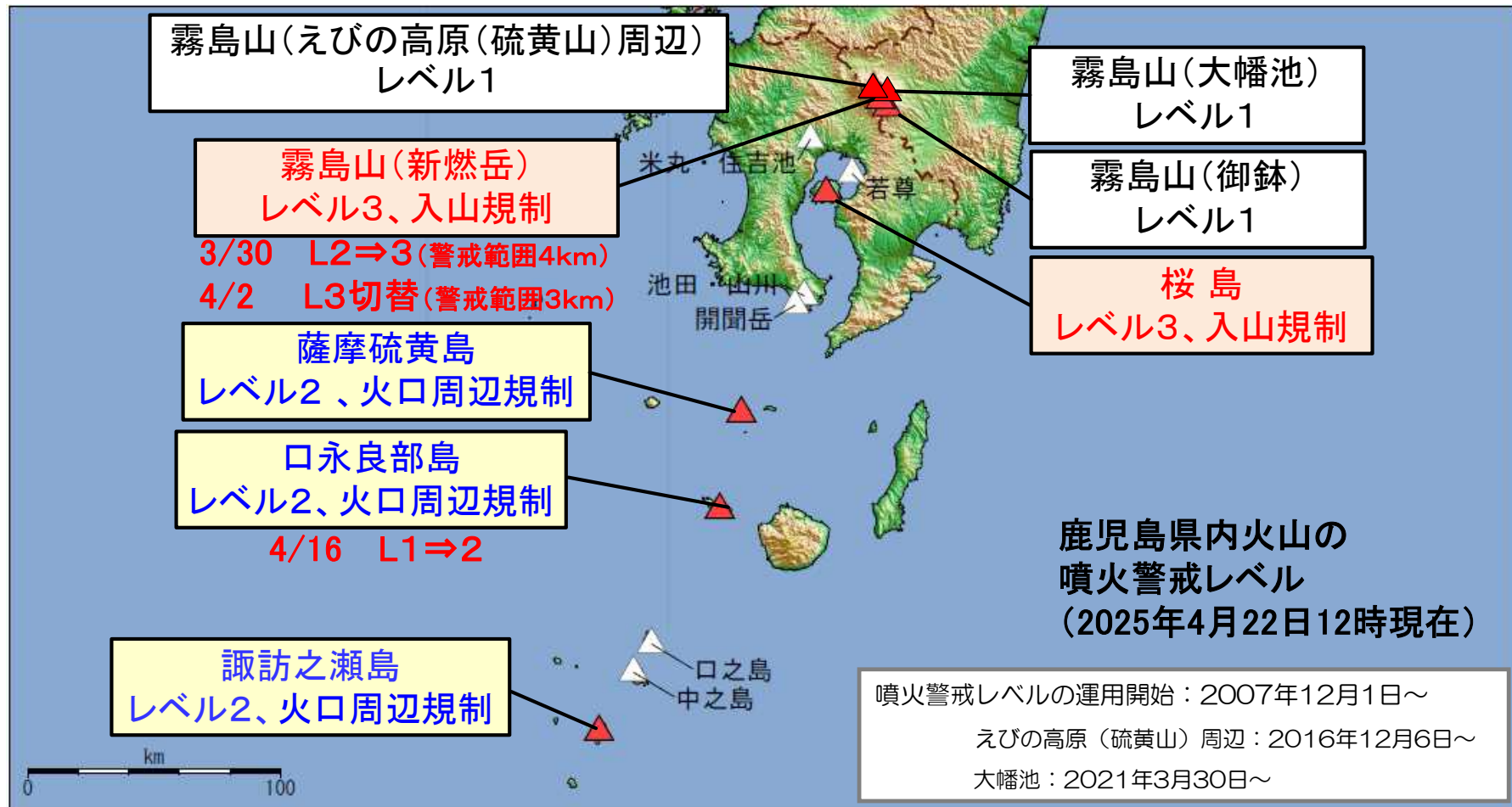


鹿児島県の火山活動概況

2025年3月～2025年4月17日

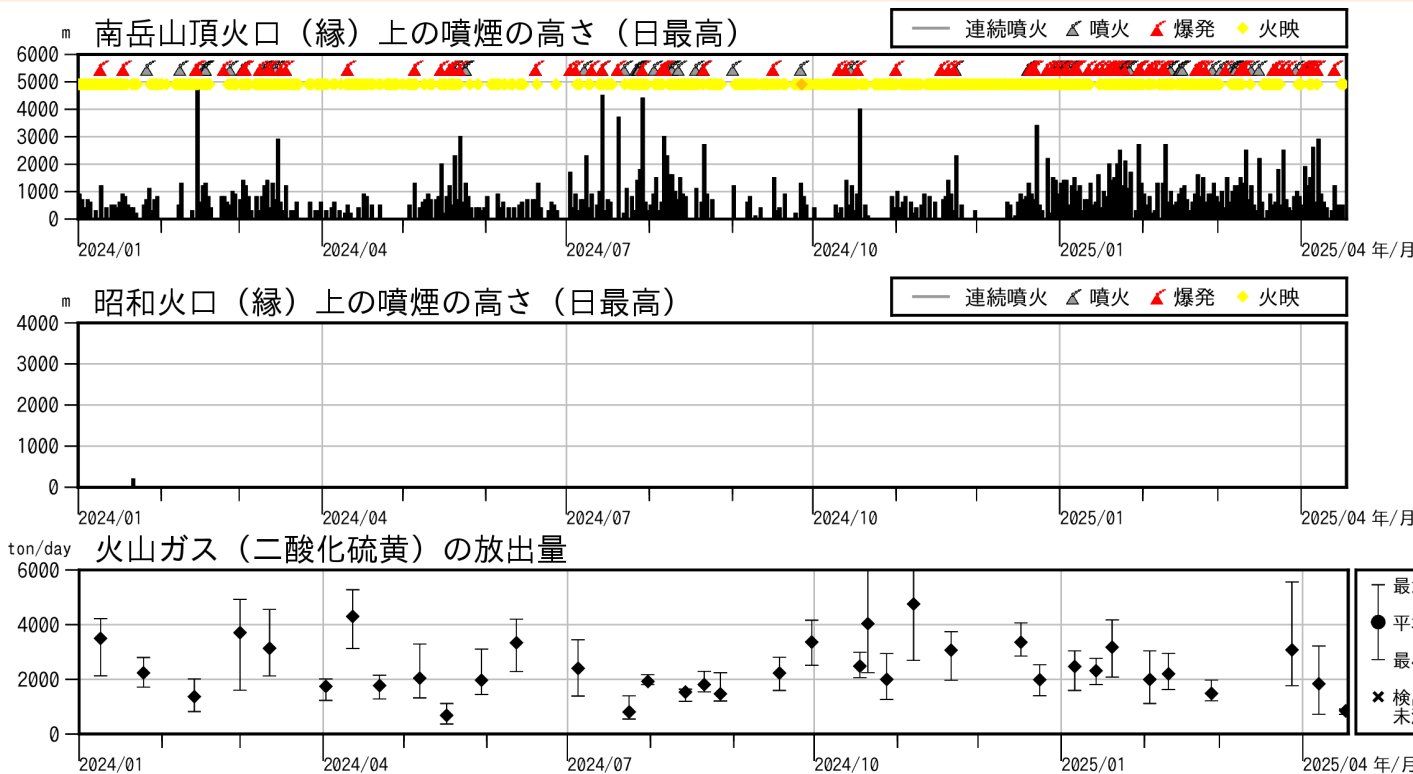


桜島 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲: 火口から概ね2km
(2022年7月27日20時00分発表)

3月以降の主な状況

活動評価	始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態であり、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後も噴火活動が継続すると考えられる
噴火活動	[南岳山頂火口] 噴火活動が継続 噴火回数 4月(17日まで):19回（うち爆発:12回）3月:25回（うち爆発:10回） 4月7日11時48分の爆発：噴煙の高さは火口縁上2900m、大きな噴石は7合目まで飛散 [昭和火口]（ごく小規模含め）噴火は発生せず
火山ガス	二酸化硫黄の放出量は概ね多い状態で経過 900～3100トン/日（3月～4月17日）



桜島 噴煙・火山ガス活動推移(2024年1月～2025年4月17日)

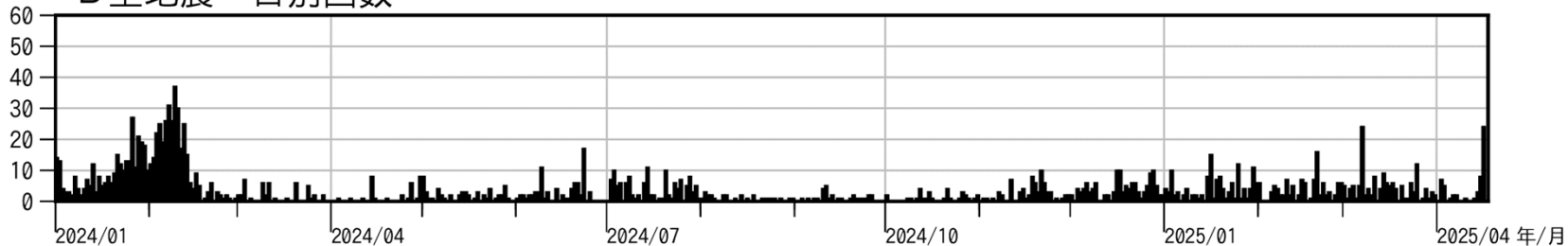
桜島 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲: 火口から概ね2km
(2022年7月27日20時00分発表)

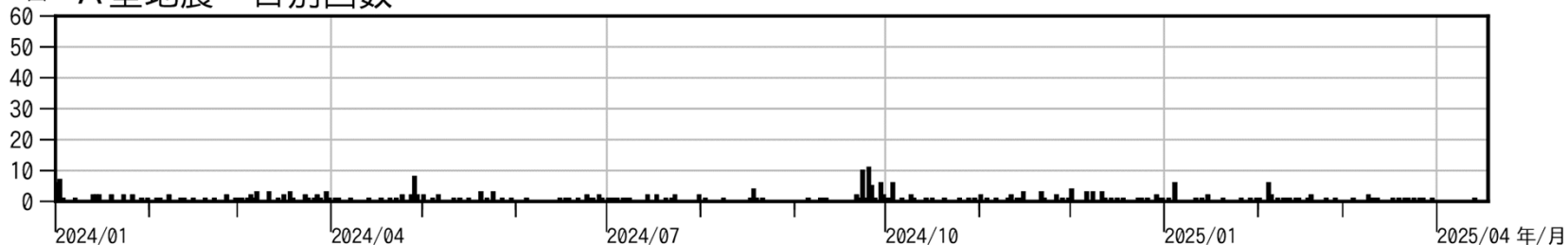
3月以降の主な状況

震動現象	少ない状態で経過
G N S S	始良カルデラの地下深部の膨張を示す緩やかな伸び

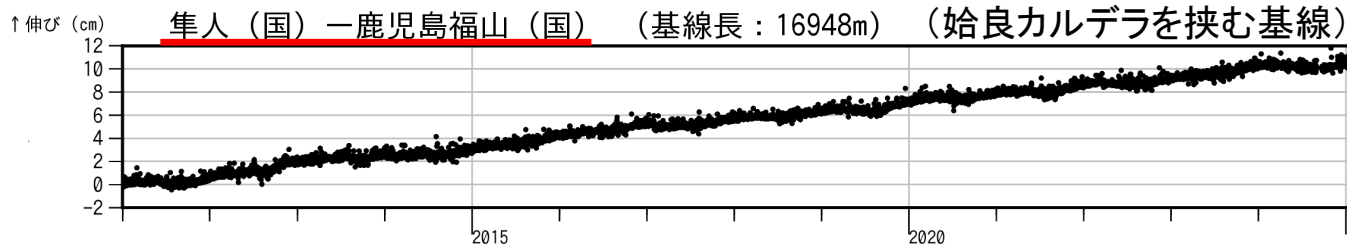
回 B型地震 日別回数



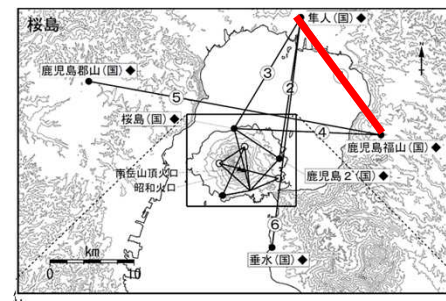
回 A型地震 日別回数



桜島 地震活動推移(2024年1月～2025年4月17日)



桜島 GNSS基線長変化図(2011年1月～2025年4月17日)



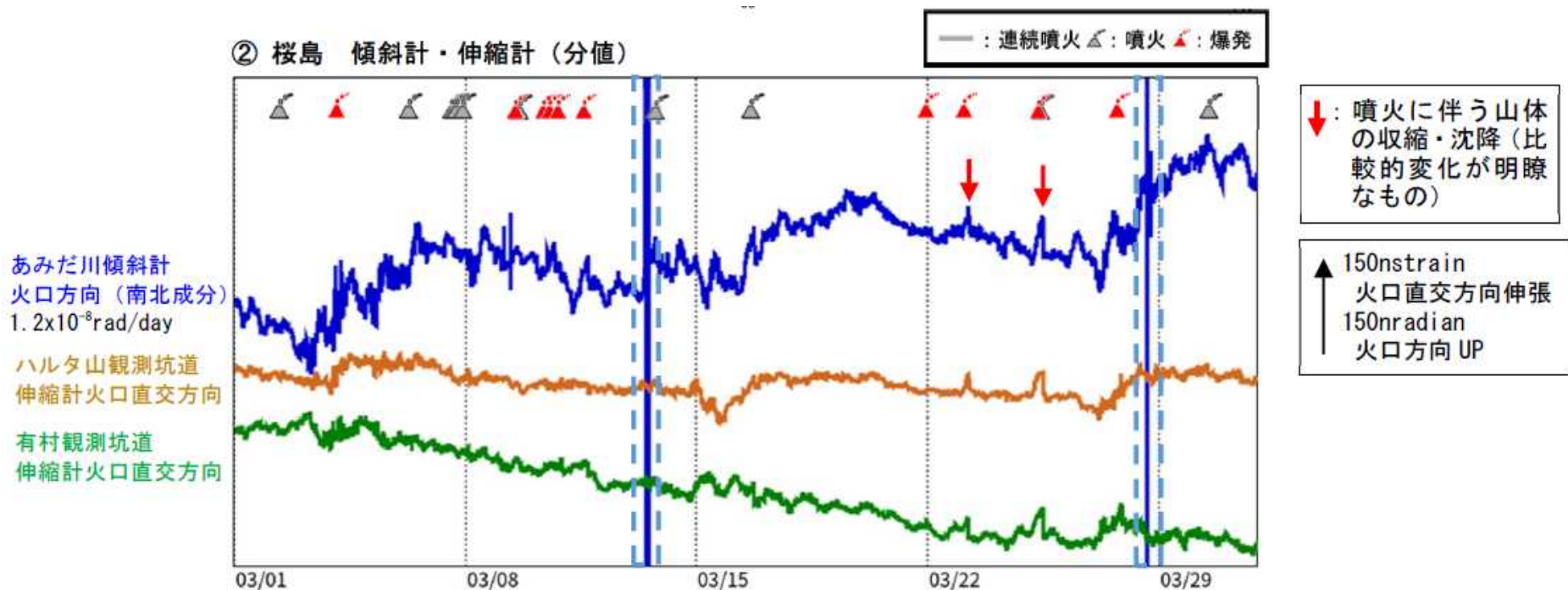
桜島 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲: 火口から概ね2km
(2022年7月27日20時00分発表)

3月の主な状況

傾斜・伸縮

一部の噴火に伴い、噴火前の山体の膨張（隆起）及び噴火後の収縮（沈降）を観測



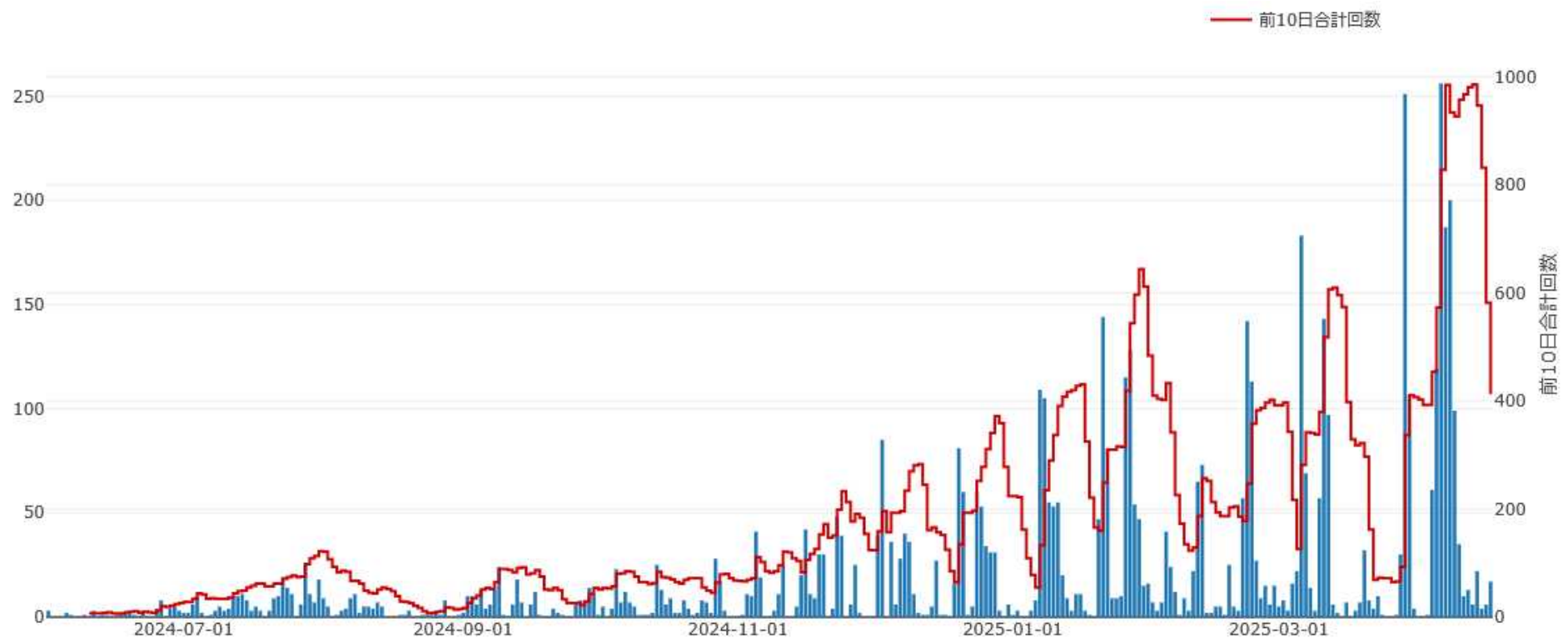
傾斜計及び伸縮計による地殻変動の状況(2025年3月)

※青破線内は遠地地震の影響によると考えられる

新燃岳 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲: 火口から概ね3km
(2025年4月2日11時00分発表)

	3月以降の主な状況
活動評価	火山性地震が増減を繰り返す・新燃岳付近の地下の膨張、火山活動が高まった状態
震動現象	[地震]2024年10月下旬頃から火口直下を震源とする火山性地震が増減を繰り返している [微動]時々発生、3月30日02時56分に継続時間が10分程度の火山性微動が発生



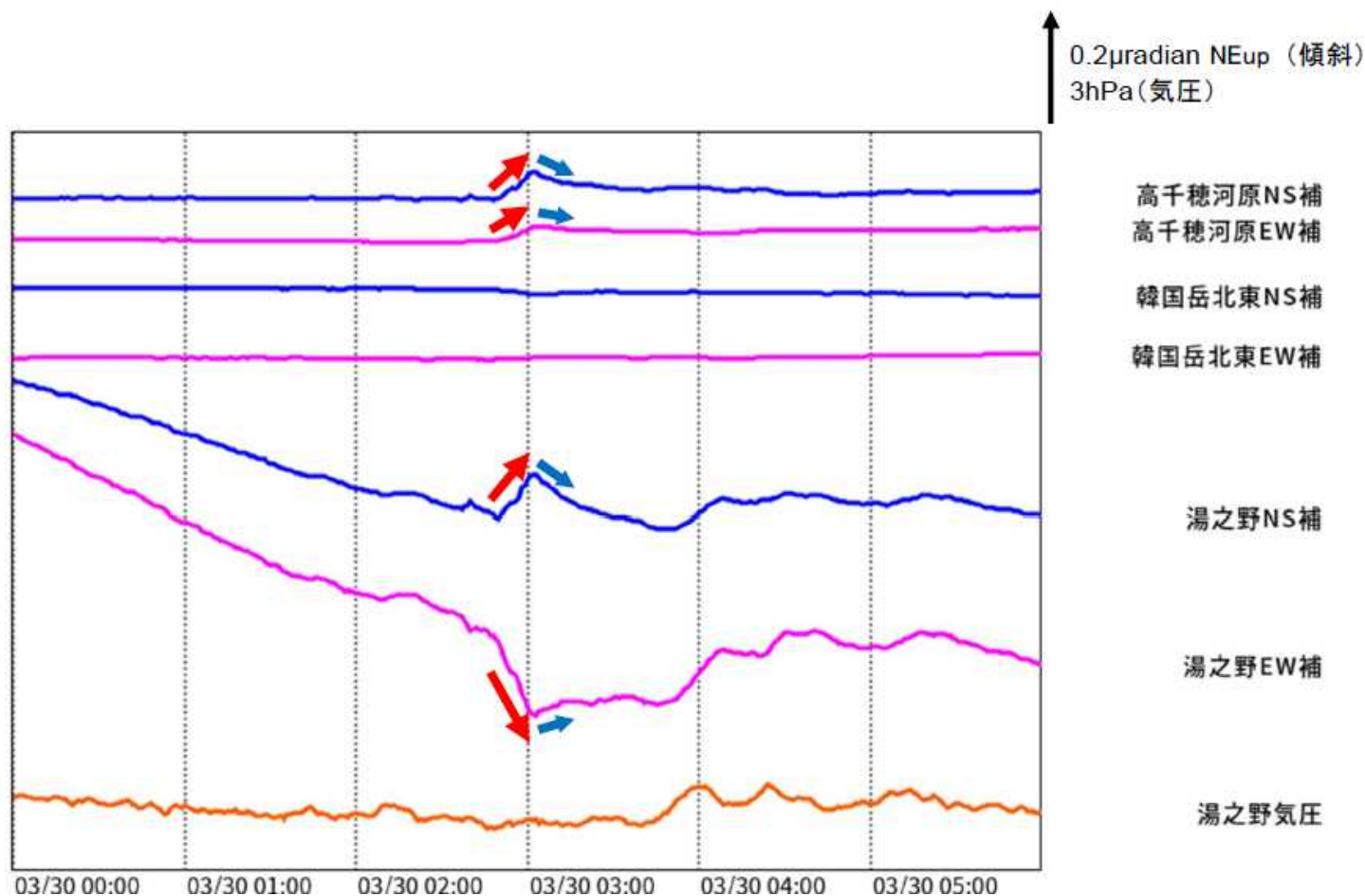
新燃岳 火山性地震日別回数(2024年6月～2025年4月17日)

新燃岳 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲: 火口から概ね3km
(2025年4月2日11時00分発表)

3月以降の主な状況

傾斜変動 新燃岳近傍に設置している傾斜計では、3月30日02時50分頃から山体の膨張（赤矢印）および収縮（青矢印）を示す変動がみられたが、その後は特段の変化はみられていない。



新燃岳 傾斜計による地殻変動の状況(2025年3月30日00時～06時)

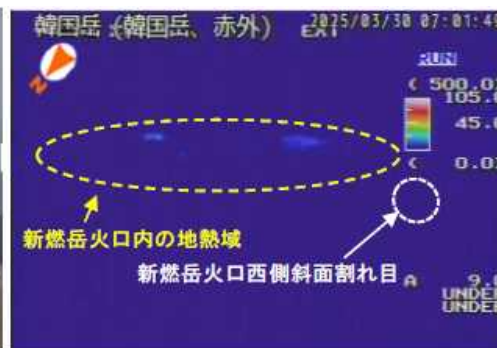
新燃岳 噴火警戒レベル3(入山規制)

警戒範囲: 火口から概ね3km
(2025年4月2日11時00分発表)

3月以降の主な状況

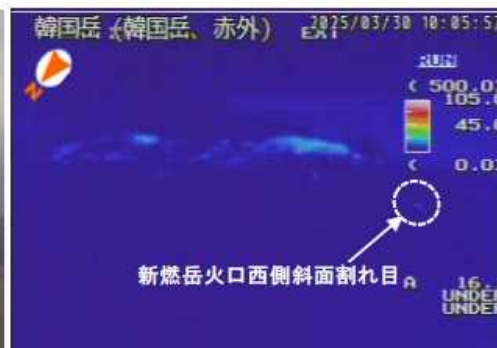
噴煙活動
地熱域

監視カメラによる観測では、3月30日08時頃～10時頃にかけて火口内の白色噴煙が一時的に増加。
新燃岳火口西側斜面割れ目付近ではわずかな地熱域を確認。

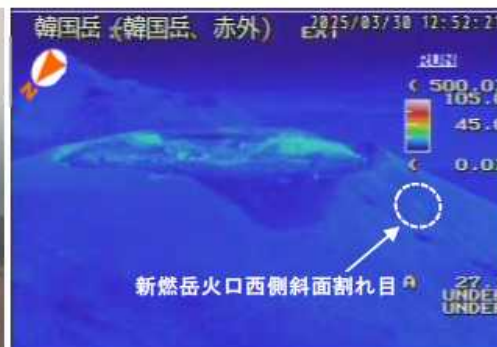


新燃岳
噴煙および地熱域の状況
韓国岳監視カメラ
(2025年3月30日)

上段: 07時頃



中段: 10時06分頃



下段: 12時50分頃

2024年11月頃から、霧島山を挟む一部の基線で新燃岳付近の地下の膨張を示すと考えられるわずかな伸びが認められる。霧島山深部の膨張を示す変化は認められない。

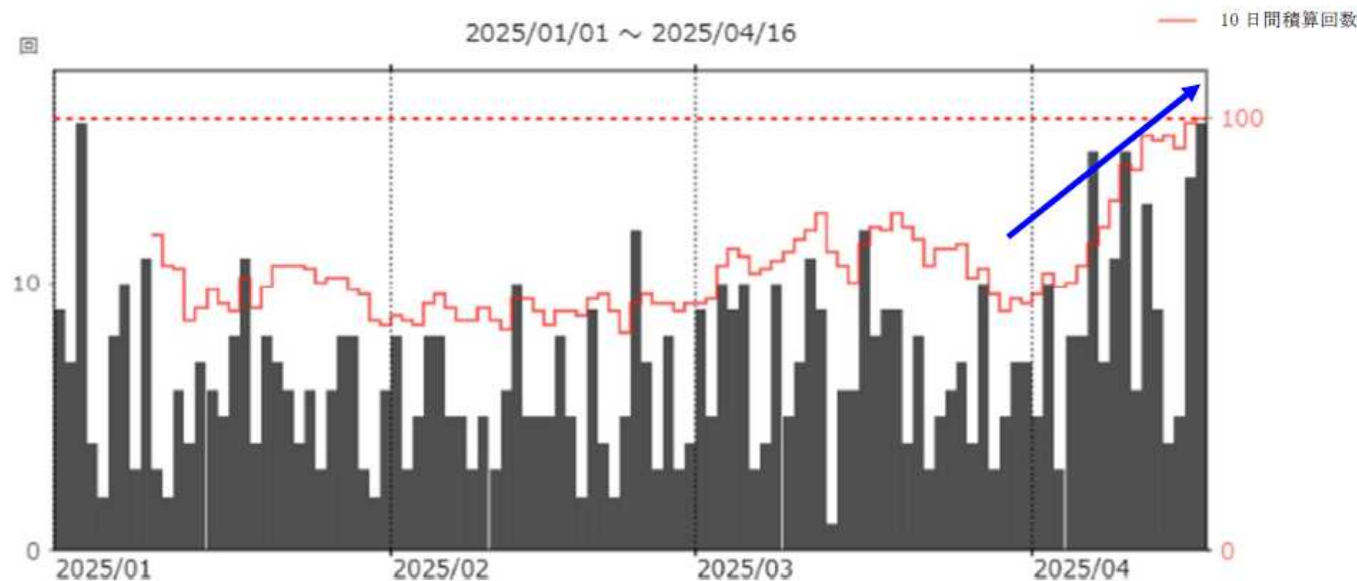


口永良部島 噴火警戒レベル2(火口周辺規制) (2025年4月16日23時25分発表)

警戒範囲:新岳・古岳火口から1km、西側2km

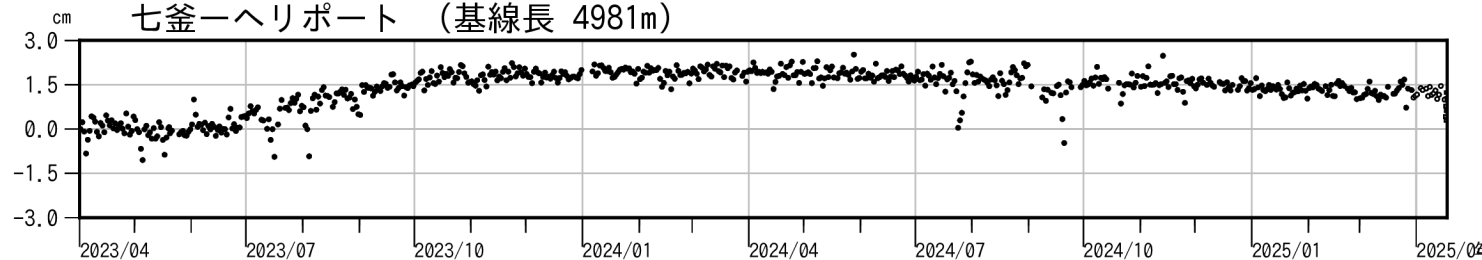
3月以降の主な状況

活動評価	新岳火口及び古岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性
震動現象	古岳火口付近の浅いところを震源とする火山性地震が増加、4月16日までの前10日間で100回発生
G N S S	2023年11月以降、山体の膨張を示す変動は認められない

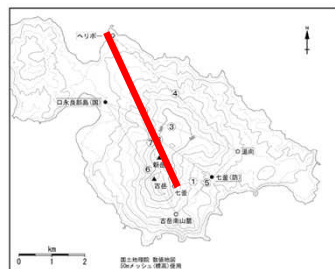


口永良部島 火山性地震日別回数(2025年1月～2025年4月16日)

七釜ーヘリポート (基線長 4981m)



口永良部島 GNSS 連続観測による基線長変化(2023年4月～2025年4月17日)



○新岳火口 ○古岳火口 ●七釜 GNSS観測点 ●ヘリポート GNSS観測点
●は新岳火口から約1km、古岳火口から約2kmの範囲に設置されています。

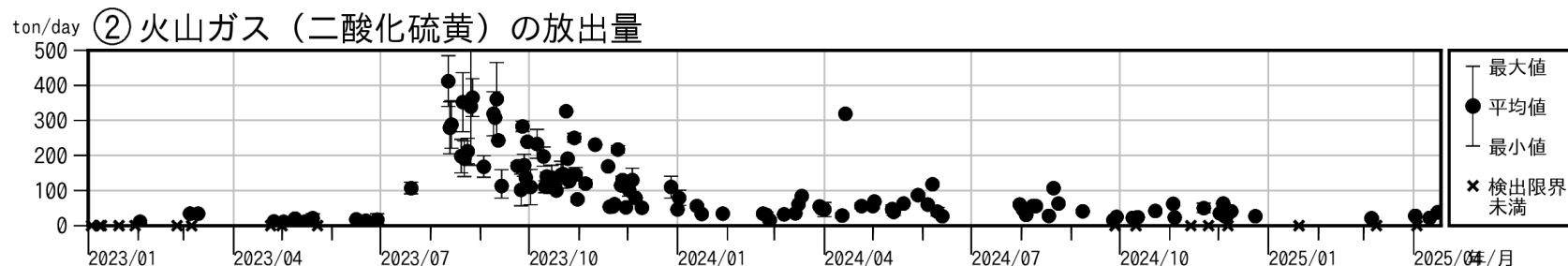
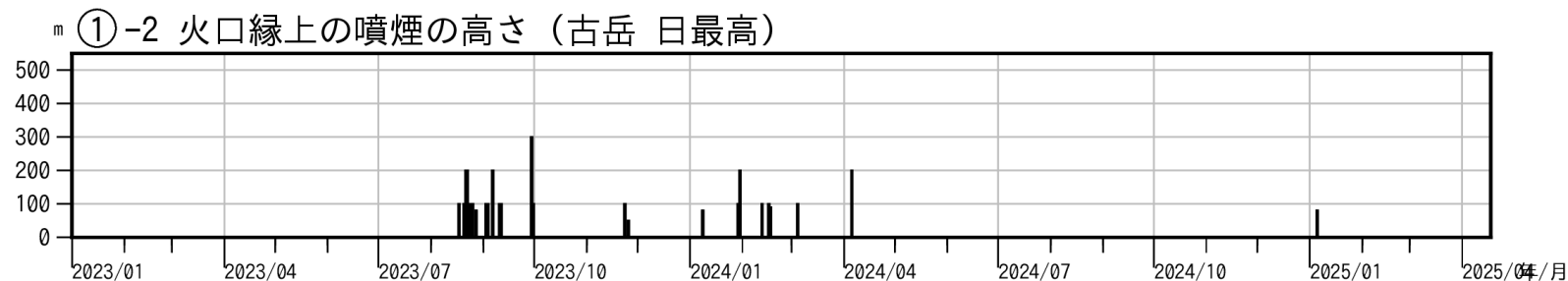
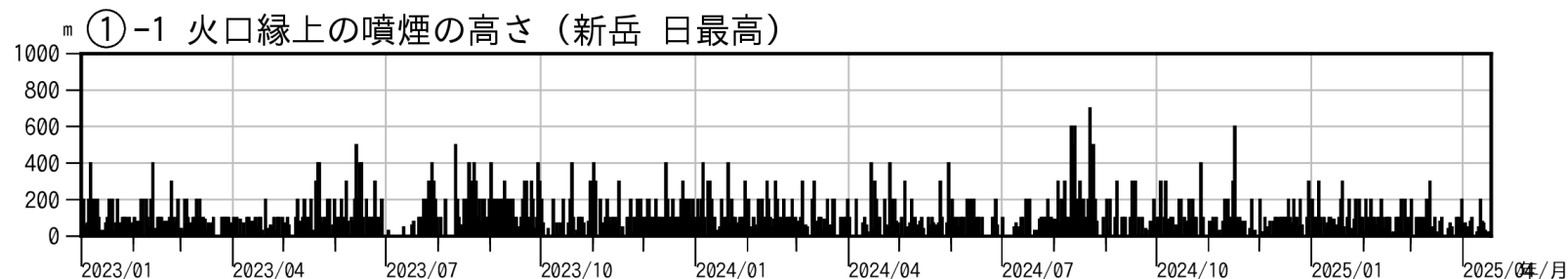
口永良部島 噴火警戒レベル2(火口周辺規制)

警戒範囲:新岳・古岳火口から1km、西側2km

(2025年4月16日23時25分発表)

3月以降の主な状況

噴煙活動	[新岳火口] 白色の噴煙を観測 最高300m [古岳火口] 監視カメラでは火口縁を越える噴煙は観測されていない
火山ガス	二酸化硫黄の放出量は1日あたり20~40トンと少ない状態で経過 検出限界を下回る日もみられる



口永良部島 活動経過図(2023年1月~2025年4月17日)